

【本市の乳幼児健診等の概要】

1. 乳児健康診査

異常の早期発見・早期治療を図るとともに正しい知識の普及に努め、適切な保健指導を行う。また要精密健診者に対して専門的な診断を受けられるようにする。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1 か月（件）					3,068
3～6 か月（件）	4,035	4,103	3,939	3,798	3,654
9～11 か月（件）	3,768	3,621	3,519	3,526	3,314

※償還払いを除く

2. 4 か月児健康相談

発育・発達の節目である生後 4 か月の時期に全数相談を行い、育児不安に早期に対応し、よりよい親子関係が築けるよう支援する。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
年間回数（回）	48	216	174	132	120
対象者数（人）	4,351	4,216	4,141	4,101	3,857
相談者数（人）	3,390	3,364	3,551	3,534	3,628
把握率（％）	77.9	79.7	85.8	86.2	94.1
ブックスタート絵本 配付数（人）	3,384	3,362	3,551	3,534	3,627

3. 1 歳 6 か月児健康診査

幼児初期の身体発育、精神発達の面で歩行や言語等発達の評価が得られやすい 1 歳 6 か月の時点において総合的健診を行い、異常の早期発見、早期対応を図り、適切な指導により幼児の健全な育成を促す。幼児虐待の早期発見、早期対応を図り、育児不安を軽減するための育児支援と助言の場とする。

保健センターでの集団健診とかかりつけでの個別内科健診の 2 段階で実施。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
年間回数（回）	72	72	74	75	75
対象者数（人）	4,961	4,457	4,400	4,293	4,198
把握者数（人） ※ 1	4,660	4,193	4,183	4,065	3,998
把握率（％）	93.9	94.1	95.1	94.7	95.2
心理士相談（人） ※ 2	121	329	374	379	373

※ 1 把握者数 集団健診以外の手段（未来所者への訪問指導等）も合わせた人数

※ 2 心理士相談 健診別日に実施した分も含む

4. ひよこ教室（1歳6か月児健康診査事後フォロー教室）

集団遊びを通して適切な発達を促す。保護者と児が一緒に遊ぶ体験を通して児との接し方を学び、児の発達を促す。必要時、療育を促す。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間回数（回）	4	80	95	95	96
参加実数（人）	11	54	67	81	89
参加延数（人）	11	237	315	319	400

ひよこ教室での様子や心理士による相談、保健師のかかわりを通して、必要な児には、こども発達相談センター（たんぽぽ教室及びひまわり教室含む）に連携。

5. 3歳児健康診査

身体発育、精神発達の面において、特に重要な時期である3歳児に総合的な健康診査を行い、異常の早期発見、早期対応を図るとともに、適切な指導により幼児の健全な育成を促す。また、幼児虐待の早期発見や未然防止、早期対応を図り、育児不安を軽減するための育児支援と助言の場とする。

保健センターでの集団健診とかかりつけでの個別内科健診の2段階で実施。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間回数（回）	72	72	74	75	75
対象者数（人）	5,075	4,794	4,846	4,491	4,389
把握者数（人） ※1	4,724	4,384	4,598	4,100	4,049
把握率（％）	93.1	91.5	94.9	91.3	92.3
心理士相談（人） ※2	177	428	442	443	455

※1 把握者数 集団健診以外の手段（未来所者への訪問指導等）も合わせた人数

※2 心理士相談 健診別日に実施した分も含む

6. 母子健康相談

乳幼児の心身発達や健康に関して個別に相談に応じ、適切な指導・助言を行い、保護者の自己解決能力が高められ、自信をもって育児ができるよう支援する。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地区相談延人数（人）※1	137	350	646	961	1,348
窓口相談延人数（人）※2	1,004	914	944	665	813

※1 地区健康相談 児童ホーム、公民館、自治会館、イベント等で実施する健康相談

※2 窓口相談 各保健センター、駅前総合窓口センター、市役所母子健康手帳交付コーナーの各窓口での面接または電話相談の合計

7. 5歳児健康診査

こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持および増進を図る。3歳児健診後、就学時健康診断までに成長や発達を確認する機会がなかったことが課題であったが、就学までの切れ目のない支援を行う。

【一段階目：事前アンケート】

対象者：令和3年4月2日から令和4年4月1日生まれのお子さん 約4,500人

内容：①対象者全員に個別通知（各保健センターが担当する地域ごとに分けて発送。）

- ・ 7月30日（北部保健センター分 795通）
- ・ 8月6日（中央保健センター分 1,407通）
- ・ 8月25日（西部保健センター分 1,204通）
- ・ 9月8日（東部保健センター分 1,080通）

②事前アンケートに保護者が回答

アンケートは2種類。スマート申請、郵送で回答を受付。

返信状況は全体で74.4%（9月28日時点）。前半に発送した北部及び中央は約80%の

返信率となっている。未返信については、未就園児のみ、はがきや訪問等で状況を追うこととしている。

③回答者全員に結果を通知（必要時、眼科、耳鼻科などの受診勧奨）

3回に分けて通知予定。1回目の結果通知は近日中に発送予定。

2回目及び3回目は10月中旬以降を予定。

【二段階目：集団健診】

対象者：一段階目で集団健診の対象となった児（未就園児等を含む） 450名程度

内容：身体測定・問診・集団遊び・歯科問診・医師の診察等

従事者：医師2名、歯科医師1名、保健師10名程度、保育士2名、心理士2名、栄養士2名、
歯科衛生士3名

日程・会場：令和8年10月29日（木）北部保健センター

11月11日（水）中央保健センター

11月26日（木）西部保健センター

12月13日（日）東部保健センター

令和9年 1月17日（日）中央保健センター

1月28日（木）東部保健センター

2月10日（水）中央保健センター

3月14日（日）中央保健センター

健康診査後の支援：要支援の児には、こども発達相談センターや医療機関、幼稚園・保育園等と連携し支援を実施。また、保健センターで継続支援を実施。